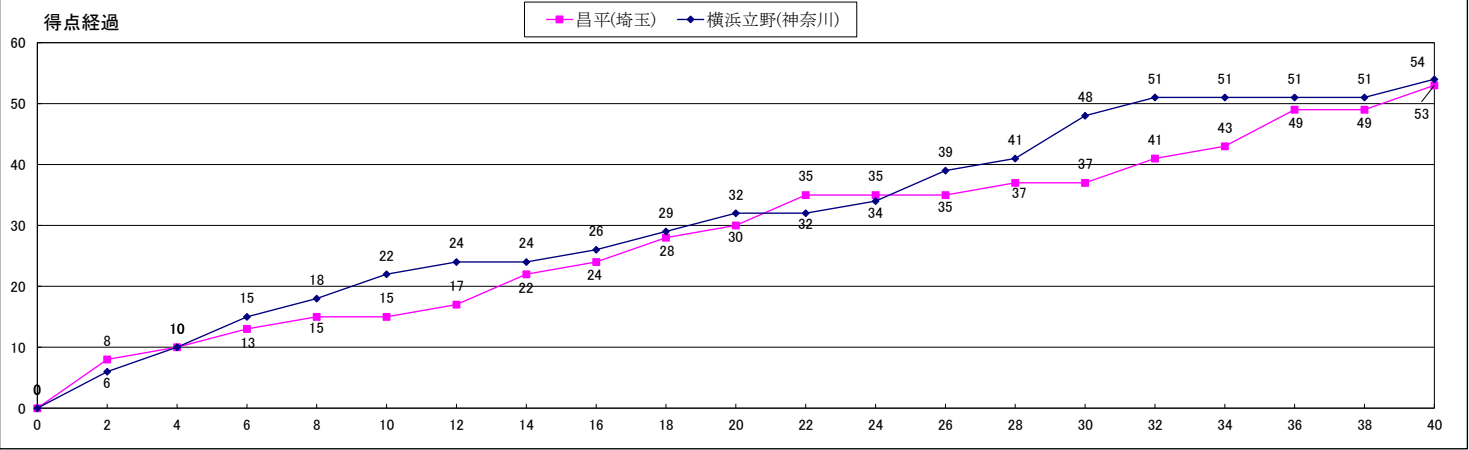


試合No.	C4	大会名	令和4年度 第33回関東高等学校バスケットボール新人大会										
		期 日	令和5年2月11日(土)				会 場		小田原アリーナ				
女子1回戦		CC	石鍋 光智代			U1		根坂 祥恵		U2		佐々木 琴美	
		チーム名					1Q	2Q	3Q	4Q	OT1	OT2	Final Score
		横浜立野(神奈川)					22	10	16	6			54
		昌平(埼玉)					15	15	7	16			53

横浜立野(神奈川)																			
氏 名	スター ライン	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
				成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
松野 純怜(CAP)	*	4	8	0	1	0%	4	7	57%	0	0		1	5	0	1	0	1	2
前田 向日葵	*	5	5	1	5	20%	1	9	11%	0	0		1	1	3	0	0	2	0
小林 来夢	*	6	11	1	15	7%	4	7	57%	0	0		1	7	2	1	0	2	0
庵 杏		7	15	5	15	33%	0	1	0%	0	0		1	3	2	1	0	0	0
大津 瑠璃	*	8	10	0	2	0%	5	8	63%	0	1	0%	3	7	2	1	0	3	2
沖田 茉歩		9	3	1	1	100%	0	0		0	0		0	0	1	0	0	0	0
伊藤 美月		10																	
阿部 沙夏		11	0	0	0		0	0		0	0		0	2	0	0	0	3	1
有馬 遊那	*	12	2	0	1	0%	1	3	33%	0	0		0	5	3	1	0	1	3
鎌田 英里		13																	
矢作 ゆう		14																	
笠原 風紗		15																	
木川 結杏		16																	
宮田 倅佳		18																	
山中 真		19																	
コーチ	石川 一洋																		
合計			54	8	40	20%	15	35	43%	0	1	0%	7	30	13	5	0	12	8

昌平(埼玉)																			
氏名	スター ライン	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
				成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
佐藤 佳凜		0																	
浜島 来瑠実(CAP)		2																	
荒川 さくら		3																	
松本 早桃	*	6	3	1	4	25%	0	0		0	0		0	3	1	0	0	1	0
中村 夏鈴		9	0	0	3	0%	0	0		0	0		0	2	0	0	0	0	0
中村 美憂		10	11	0	1	0%	5	10	50%	1	1	100%	1	5	0	0	0	0	0
板東 初季		19																	
片柳 日和		20																	
成田 心海	*	23	23	2	5	40%	8	16	50%	1	2	50%	0	6	5	2	0	2	1
野口 百葉		31																	
中山 乙葉		46	0	0	1	0%	0	1	0%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
野川 らら		55																	
原田 朱夏	*	62	2	0	0		1	5	20%	0	2	0%	0	3	0	1	2	1	1
菊田 惟月		71	8	2	4	50%	1	4	25%	0	0		0	8	1	1	0	4	2
稲葉 聖乃	*	93	6	0	2	0%	3	5	60%	0	0		1	1	1	4	0	3	4
コーチ	加藤 祐介																		
合 計			53	5	20	25%	18	41	44%	2	5	40%	2	28	8	8	2	11	8



戦評

1Q 横浜立野はマンツーマンディフェンス、昌平は2-2-1からマンツーマンディフェンスでスタート。昌平は#23を中心にオフェンスを組み立て、得点を重ねる。対する立野高校はハイポストを基点としながら得点を重ねていく。両者拮抗した時間帯が続いたが、横浜立野のインサイドプレーが立て続けに決まった。横浜立野22-15昌平で1Qを終了。

2Q 流れを変えたい昌平は、開始直後に2-2-1から2-3のゾーンディフェンスに変更する。ディフェンスでリズムを掴んだ昌平が連続で得点を重ねると、横浜立野がたまたずタイムアウト。タイムアウト後も流れは変わらず、#23のゲームメイクから#6の3ptsなどで得点を重ねていく。横浜立野はオフェンスリバウンドで粘りを見せ、ゴール下のシュートや3ptsで繋ぐ。横浜立野32-30昌平で2Q終了。

3Q 後半開始、リズムを変えたい横浜立野は2-1-2のゾーンでスタート。対する昌平は落ち着いてゾーンオフェンスを展開する。両者シュートがリングに嫌われ、拮抗した時間が続く。残り4分から横浜立野はトランジションから#7の3ptsや#5のシュートが決まりだし、一気に流れを掴み、得点を重ねる。横浜立野48-37昌平で3Q終了。

4Q 開始直後、横浜立野の#6のロング3ptsが決まり、一気に流れを掴みにかかると、対する昌平は2-3ゾーンで粘り強く守り続け、トランジションオフェンスや#23のアシストで対抗する。トランジションオフェンスから昌平が得点を決め、その直後に横浜立野が3ptsを決め返す熱戦が繰り広げられる。残り1分、横浜立野がタイムアウトを要求するが、24秒オーバータイムで昌平ボールになり、昌平のタイムアウト。フロントコートでのスローインを請求し、ゴール下のシュートを決めるが、1点及ばず横浜立野54-53昌平でゲーム終了となった。両者持っている力を出し切った好ゲームであった。